

令和7年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】

○一人ひとりが輝き、ともに未来を創る大津の教育を実践する

【学校 目標】

○生徒一人ひとりが主体的に学び、高め合い、思いやり、生き生きと活動する教育実践を行う

【現状と課題】

○視点1

(1)基礎的な学習基盤が弱く、学習内容を十分に理解することができないため、自ら学ぼうとする姿勢を育成する必要がある。

(2)ICT端末を活用したプレゼンテーションなど、自分の考えを言葉で表現し、「伝える力」の育成が必要である。

○視点2 学校行事や生徒会活動における縦割り集団での学習活動により、人間関係の育成に向けた全校体制での取り組みを推進する必要がある。

○視点3 個別の支援が必要な生徒や多人数の中での人間関係の構築が苦手な生徒が多いため、異年齢集団や地域

取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】
※達成状況の割合(%)は、目標数値に対しての達成状況の割合です。

【視点1】子どもたちが主体の授業づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①生徒が学びを実感できる授業づくり ②「伝える力」の育成につながるICT機器の活用	①学校評価の「授業では、先生からの課題やグループで立てた課題の解決に向けて、自ら考え自分から取り組んでいた」の数値目標「よくあてはまる」を50%にする。		
	②学校評価の「話し合う活動やICTの活用を通して、自分考えを深めたり、広げたりすることができる」「友達の前で自分の考えや意見を発表できるようになったか」とともに数値目標「よくあてはまる」を50%にする。		
【視点2】学びを支え合う集団づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①学校行事や生徒会活動さらに全校道徳などにおいて、縦割り集団での生徒主体の学習活動を推進する。	①学校評価「学校の行事や授業で、縦割り集団での活動を積極的に取り組んでいますか。」の数値目標「よくあてはまる」を50%にする。		
【視点3】協働して取り組む学校づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①「学校夢プロジェクト」での保幼小中合同イベントを実施する。 ②地域の行事への参加を通じて、家庭や地域との協働の充実を図る。	①学校評価の「今住んでいる地域の行事に参加していますか」「地域社会のボランティア活動に参加したことがありますか」の数値目標「よくあてはまる」を50%にする。		

- ・4月の職員会議で校長が教育目標や学校経営等について伝える。
- ・第1回研究推進委員会で本年度の取組事項に関する具体的な内容について協議する。
- ・第2回研究推進委員会で前期の取組事項について具体的な内容について協議する。取組事項は学校だよりとホームページで保護者や地域に発信する。
- ・全員で取り組む具体的な内容について共通理解し、視点1については情報化リーダーと研究主任、視点2については特活主任と生徒指導主事、視点3については小中連携担当と学校夢プロジェクト担当が中心となって、組織的に実践につなげる。
- ・定例職員会議で取組の状況等を共有し、校内研究の9月の中間報告や11月下旬の学校評価における数値や意見等をもとに、改善策について(校内研究部、特別活動部、教育支援部会等)でまとめ、1月の職員会議で共有し、3学期からの取組につなげる。

今年度の取組の成果と課題